スクールインターンシップ研修 体験レポート

スポーツ健康科学部 4年次生
（スクールインターンシップ研修時）

こんにちは。

2020年度にスクールインターンシップを受講しました。私は、4回生の秋学期に教育実習を終えてからこの授業に参加しました。なので、少し皆さんと立場が異なるかもしれませんが、他の参加者の方の意見も参考に書かせていただきます。

まず、参加する方の多くは教育実習の前に学校現場を体験して準備をしたいという方が多いです。他にも、高校志望だが中学校についても知りたい、公立学校の現場を知りたいなどきっかけは様々です。ですが、きっかけなど何でもよくて、迷っているなら行ってみるべきだと思います。私は、教育実習の準備のために行くということは全く知らず、インターンシップを終えて受講者で集まったときに4回生が自分しかいないことに驚きました。多くの人は教育実習の前に準備するために行くものなのか…と感心しながらも、後に行ったからこそ違う視点で感じれることもあっただろうと思いました。

実際の体験内容としては、授業見学・授業補助が主になります。たまたま行事と重なって、体育祭や文化祭の準備などに当たる方もいましたし、生徒と関わることはできると思います。教員免許を取得していないので、教壇に立って授業することは基本的にはありません。私自身は専門教科が保健体育ですので、その授業を中心に見学したり一緒に生徒と動いたりしていました。また、他教科の授業も少なくとも1回は全教科見学させていただきました。

授業を見学するときの視点として、自分が実際にこの授業をするとしたらどこに気を付けるか、子供たちに何を伝えたいのか、そのためにはどのタイミングで何に注目させて理解させるかなど、考えながら見学することをお勧めします。その際、気付いたことや疑問点があれば、授業をされていた先生に質問したり、自分の考えたことを伝えてみたりすることが大切だと思います。すると、その先生の考え方を聞いて新しい発見を得ることができたり、自分の意見についてアドバイスをもらったりすることができます。

おわりに、、、「すべては自分から行動を起こさないと何も起こらない」ということを最近よく感じます。大学生活4年間を振り返って、自分がどんなことをしてきたか考えていました。大学は高校までと異なって、自由な場所です。一見楽に思えるかもしれませんが、環境に身を任せていても学べることは少ないと思います。たくさんの迷いや誘惑があるかもしれませんが、もし挑戦するか迷っていることがあるなら、周りに流されず自ら一歩踏み出してやってみるべきです。スクールインターンシップに限らず。絶対に今しかできない、とまでは言いませんが早いうちに経験しておくということは、未来の自分へ何らかの影響を与えてくれるでしょう。挑戦してみて、たとえ失敗してもすべては未来の自分のためになっています。「自ら行動を起こす」ときっとスカッとした気分になるはずです。

皆さんの挑戦を応援しています。